

第 2 回 プラスチック問題に関する万国津梁会議 議事概要

1. 資料説明に対する委員の質問・意見等

No.	質問・意見等	回答
1	・ごみ出しのマナーが低く、ポイ捨て率は高いという印象があり、基本的なマナー向上や基本的な部分に気付かないといけないのかなという気がした。提言の方向性にもつながっていくかと思う。(浅利委員長)	(対応方針) ・下記の視点を提言に記載することを検討する ・ごみ出しのルール順守やマナー向上
2	・県民へのアンケート結果は今後どのように解析する予定か。(浅利委員長)	・県民の関心度が高いことや取り組みを行う企業に対する評価等の考え方、行政に対する意見を提言につなげていきたい。 (事務局)
3	・企業へのアンケートの回答率が低い。今後もう少し回答率が上がる見込みはあるか。また、回答率の低さの原因について教えてほしい。(浅利委員長)	・現在、電話で回答依頼をしており 200 件弱の回答が集まっている。回答率が低い原因として、昨年度に実施した同様のアンケートでは、コロナの影響で事業所自体に余裕がなかったと聞いている。(事務局)
4	・アンケートでプラスチック問題について学んだことがないという回答が多い点について、多くの地域での課題である。市町村の協力を得ないと難しいと思うが、自治会単位までいって、しっかり対話を重ねていくことで、環境教育を受けた割合は向上すると思う。先進的な自治体は住民との対話を重ねているので、その方策をご検討いただけたらと思う。(原田委員)	・環境教育プログラムを作成し、地域環境センターを拠点に連続講座などを行っている。また、環境教育推進行動計画では、教育庁も含め、庁内で横断的に計画し、委員会を通じて進捗状況を管理している。啓発をいかに高めていくかが非常に課題だと感じている。様々なご提言等を受け、実践できるようにしていきたい。(事務局)
5	・ペットボトルは単一商品としては大量に廃棄されている。特に沖縄の場合は本土まで運ぶために膨大なエネルギーを使っている。分析するには他との比較について認識すると違う見方ができると思う。(原田委員)	—
6	・県民へのアンケートに関して、企業として具体的に対応するため、年齢別と男女別で数字を出していただきたい。(久鍋委員)	・年齢層や性別について意識の区別がつくように解析していきたい。(事務局)
7	・廃棄処理の量は本当にこの程度なのか。実際にこのくらいの廃棄処理で回るとは到底思えない。	・廃棄処理の実態について整理中だが、ご指摘のとおり相当量廃棄されている。また、可燃ごみ中のプラごみの量に関しては、処理業者や市町村に問合せして抽出していく必要がある。(事務局)
8	・県内で再利用をしている企業や製品等を教えていただければ、様々な業種間の中で取り組みの拡大はできると思う。(久鍋委員)	(対応方針) ・県内で再利用に取り組む企業や再生品等を次回会議で紹介する。
9	・アンケートに関して、沖縄本島と離島で分けて集計可能か。(村上委員)	・後ほど分析可能か調べ、可能であれば対応したい。(事務局)

No.	質問・意見等	回答
10	<p>・アンケート結果から、使い捨て品のリデュースは、まだできていないと感じた。レジ袋は情報が多いので、アクションする人は増えていくが、これからもっとやっつけていかなければいけないことをどう伝えるかは、学ぶ機会、情報に触れる機会が重要と感じた。(村上委員)</p>	<p>(対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記の視点を提言に記載することを検討する ・学ぶ機会、情報に触れる機会の創出
11	<p>・プリフォームの製造、販売について、県内の現状はどうなっているのか。(村上委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プリフォームを県内メーカーから買い付けて、製造メーカーが膨らませている。再生フレークから製造するというバトン渡しはうまくつながっていない。(事務局)
12	<p>・洗濯排水がマイクロプラスチックで問題になっている。処理場でトラップできないため、海洋に多量に河川を通じて流れているというデータもある。(常盤委員)</p>	<p>(対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記について提言への記載を検討する。 ・洗濯排水に含まれるマイクロプラスチック
13	<p>・海外との交流という非常に重要な施策を続けている。国際的な信頼関係の醸成を遂行されていると思うので、引き続き着実に進めていただけたらと思う。(清野委員)</p>	<p>(対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記について提言への記載を検討する。 ・交流事業の継続
14	<p>・明らかな不法投棄や、ビーチや川の観光系やイベントのごみに関しては、警察や河川管理者、海岸管理者なども含めた管理強化が大事だと思う。(清野委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村、県警本部、海上保安本部等と不法処理防止連絡協議会を設置している。各保健所に警察官OBを廃棄物指導員として配置し、随時パトロール等を行う他、監視カメラ等も必要に応じ設置している。沖縄県廃棄物不法処理連絡協議会では5月のごみゼロの日に、合同パトロールをしている。(事務局)
15	<p>・啓発として日付が決まった一斉摘発はいいと思うが、抜き打ちの捜査というのも必要だと思う。捨てる場所や捨てそうな人の目星が付いているときに、もう少し踏み込んで対応することが必要かと思う。町内会で取り組んでも、様々な目に遭う等不法投棄は大変な問題なのでお願いしたい。(清野委員)</p>	<p>(対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記の視点を提言に記載することを検討する ・不法投棄対策の強化

No.	質問・意見等	回答
16	<p>・川ごみは対処自体も難しく、臭いがあり濡れているという状況下で清掃されている。清掃活動をしている方への感謝が必要だと思う。陸域のまち美化や河川・水路の清掃に携わっている方の努力が見えるような施策が必要だと思う。個人や町内会の取り組みが見える化し、海だけでなく、陸でも対応されている方が継続的にいることを示せたらと思う。一層ご検討いただけたらと思う。(清野委員)</p>	<p>・地域環境センターの方でボランティア活動のマッチングなども徐々に始めている。今後も課題だと思うので、様々なご意見を聞きながら拡充できるようにしていきたい。(事務局)</p>
17	<p>・習慣的に悪気がなく捨ててしまっているという話も聞いた。みんなで目配りしていく必要がある。いよいよというときには、しかるべき手段も使うこともあると思うので、一步一步検討いただけたらと思う。(浅利委員長)</p>	<p>(対応方針) ・下記の視点を提言に記載することを検討する ・マナー向上とポイ捨て防止の取り組み</p>
18	<p>・ポイ捨ても不法投棄だと思う。当社にも警察 OB の方が保健所の方と一緒に見に来たりすることがあるが、ポイ捨てに対して目が向けられているのか疑問を感じている。本質的なところはどこかをぜひ見ていただきたい。(赤嶺副委員長)</p>	<p>(対応方針) ・下記の視点を提言に記載することを検討する ・マナー向上とポイ捨て防止の取り組み</p>
19	<p>・環境教育は大人の教育が先だと感じている。監視システムや罰則の導入も必要ではないかと思っている。そういったことがないと、なかなかポイ捨てはなくならないと思う。罰則の情報提供や意識を高めた行動を取ってくださいということを地域自治体でも説明会を開いてはどうかと思う。(赤嶺副委員長)</p>	<p>(対応方針) ・下記の視点を提言に記載することを検討する ・ポイ捨て防止の取り組み (情報提供)</p>
20	<p>・会社周辺で 10 年以上 2 週間に 1 度ごみ拾いを続けている。多いのは、タバコ、空き缶、弁当箱である。最近ではテイクアウトの容器が落ちている。川上をたどって行って、うまく連携することも重要ではないかと思う。(赤嶺副委員長)</p>	<p>(対応方針) ・下記の視点を提言に記載することを検討する ・ポイ捨て防止の取り組み (販売者との連携)</p>

2. 提言の骨子案に対する委員の質問・意見等

No.	質問・意見等	回答
1	<p>・最終的な提言は次年度末に出ささせていただくという認識でよいか。最終的な提言を意識しながらも、今年度に中間報告をするときに骨子案を出すという位置付けか。 (浅利委員長)</p>	<p>・最終的な方向としては、課題を整理した提言となるが、今年度は沖縄県の現状から課題を抽出していただいて、それをまとめたものを知事に報告していきたいと考えている。(事務局)</p>
2	<p>・沖縄だからこそ、沖縄ならではの地理的背景なども考慮する必要があると思う。沖縄の河川は非常に短く、ポイ捨てされたごみがすぐに海に流れてしまうリスクがほかの地域と比べて極めて高いと考えられる。(原田委員)</p>	<p>(対応方針) ・下記の視点を提言に記載することを検討する ・ポイ捨て防止の取り組み</p>
3	<p>・川ごみは法令上ごみと定義されていない。ボランティアが拾った場合や請負業者が事業として拾った場合で扱いが大きく異なる。そういったところを整理していただけたらと思う。(原田委員)</p>	<p>(対応方針) ・川ごみの取り扱いについて整理する</p>
4	<p>・沖縄では全ての河川が、県が管理する2級河川だと思う。沖縄の実態に即した制度をつくっていくことを提言させてもらいたいと思う。(原田委員)</p>	<p>(対応方針) ・下記の視点を提言に記載することを検討する ・川ごみに対する取り組み</p>
5	<p>・第1回会議の資料の中では、美化活動という部分もキーワードとして入っていた。今は完全に使用サイドがメインにも思えるので、項目立てについて考えるといいのかなと思う。(浅利委員長)</p>	<p>・美化活動について次回入れ込んでご提示したい。(事務局)</p>
6	<p>・今年度は何か具体的にはできないか。来年度ということではなくて、今できることはたくさんあると思う。観光客が増える今からそういった取り組みができるよう知事に提言することを前提としてお願いをしたいと思う。(久鍋委員)</p>	<p>・今年度は課題を抽出してまとめていくが、その中ですぐにできることも浮き彫りになってくると思う。知事への報告の中で、すぐできることも今の段階で整理できるのかどうか、今後検討していきたいと思う。(事務局)</p>
7	<p>・レジ袋はコンビニ販売商品のプラスチックの9%以下である。それ以外の食材の容器等の軽量化をしていかないと、本質的なプラスチックの問題は解決できないと思っている。(久鍋委員)</p>	<p>(対応方針) ・下記について提言への記載を検討する。 ・食材の容器等の軽量化</p>

No.	質問・意見等	回答
8	<p>・県にお願いしたいこととして、企業の削減化や軽量化の取り組みを認めていただき、消費者がそういう商品を選んでいただけるようにしていただきたい。国・県で、様々な企業の取り組みを積極的に承認することで、企業は積極的に参加できる。消費者への啓蒙にもつながると思うので、ご検討いただければと思う。(久鍋委員)</p>	<p>・企業の考えていることと、取り組みやすい形を様々な提言していただいて、考えていきたいと思う。一緒に取り組まないと進まないと思うので、全体でやっていきたいと考えている。企業の課題もいろいろ出てくると思うので、ご提示いただけたらと思う。(事務局)</p>
9	<p>・沖縄らしさを明確に出した内容がいいかなと思う。県民の方が努力したら、少なくとも県内から出るものに関してはすぐ結果が見やすいということもある。すぐ結果が出るものとして、モデル海岸やモデル流域を指定して、頑張っているところに関して、より人の努力が見えるような施策があるのかなと思う。(清野委員)</p>	<p>・短期的、中期的、長期的取り組みとして、まとめることができないかご提案したが、すぐに対策できるものをまとめていけるのであれば、ご提言する中で場合分けしていけたらと思っている。(事務局)</p>
10	<p>・多様な海岸に応じた対策の方法を見ていく必要があると思う。特性が違うので、そういうプログラミングを地域の方と一緒にしていくことになると思う。(清野委員)</p>	<p>(対応方針) ・下記の視点を提言に記載することを検討する ・海岸の特性に応じた対策の方法</p>
11	<p>・台湾や中国との民間も含めた交流は非常に重要である。沖縄の場合は、漂着ごみから相手の生活まで想像できるという点は、特徴として大きい。漠然と国際というだけではなくて、お互いに生活者・事業者としての責任や努力が見えるかたちで書いていただけるといいかなと思う。(清野委員)</p>	<p>(対応方針) ・下記の視点を提言に記載することを検討する ・お互いの責任や努力が見える形の国際交流</p>
12	<p>・沖縄から、短期的にという視点も大事だが、世界的に、長期的な視点も必要である。マイクロプラスチック問題、海洋プラスチック問題は世界で注目され、各国が様々な政策を打ち出しているため、それを参考にするとよいと思う。(常盤委員)</p>	<p>・長期的な視点を2050年、中期的な視点を2030年に置くなど、今後検討していきたい。(事務局)</p>
13	<p>・今年の6月に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が成立している。来年施行するので、これに則った理解をすることが重要かと思う。(常盤委員)</p>	<p>(対応方針) ・「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」を踏まえた提言のとりまとめ</p>
14	<p>・プラスチックの問題は大きく捉えて、大きな視点から取り組まないといけないと思う。海洋プラスチック問題は、中央省庁を中心に企業も巻き込んで取り組まれており、世界的にも色々な提言が出ている。それらを参考にして、どのように提言していくかだと思う。(常盤委員)</p>	<p>・製造のデザインでどんなものをつくり、どういうものをリサイクルしていくか。それは非常に大きな今後の課題になっていくと思う。具体的なものをどう織り込んでいくかを考えていければと思う。(事務局)</p>

No.	質問・意見等	回答
15	<p>・沖縄の本土とは異なる海を使って、海洋分解性の試験をできるとよいと思っている。 (常盤委員)</p>	<p>(対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記の視点を提言に記載することを検討する ・産学官連携による沖縄の地域特性の活用
16	<p>・兵庫県の豊岡市では生物多様性の地域戦略を策定する際に、市内の小学校の校歌に歌われている風景を残すことを最初に掲げた。そのような分かりやすい呼び掛けが大事だと思う。沖縄は美しい海に囲まれており、これは県民共通の認識だと思う。(原田委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい問いかけは重要なことで、行政の言い方は分かりにくくなりやすいため、よいキャッチフレーズ、県民の耳に入りやすい形を取り入れていきたい。(事務局)
17	<p>・ペットボトルを本土に運ぶのは大変と聞いた。今後コロナが終息し、観光が回復していくにあたり、場合によっては台湾と連携していくことも、沖縄県は特区なども積極的に取られているので、経済政策としても考えられると思う。(原田委員)</p>	<p>(対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記の視点を提言に記載することを検討する ・台湾との連携
18	<p>・ブランディングについて、最近では探求型の修学旅行が私市立の学校を中心に増えており、従来の観光的な修学旅行と大きく変わりつつある。積極的に誘客にもつながるので、ぜひ世界的な視点を大事にしていきたい。(原田委員)</p>	<p>(対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記の視点を提言に記載することを検討する ・探求型の修学旅行への活用 ・世界的な視点
19	<p>・ごみを発見しただけではポイ捨て行為を立証できない。埼玉県警では、繰り返し同じようなごみが落ちていたら、周辺の監視カメラから犯人を特定して検挙したこともある。他地域の取り組みも参考にさせていただければと思う。(原田委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他地域の先進事例を参考にしていきたい。(事務局)
20	<p>・煙草がプラごみと思っている人は意外と少ないと思う。今年の7月からEUは「使い捨てプラスチック指令」を新たに出し、カトラリー等も禁止した。また、特定の品目に関しこれはプラスチックだと分かるような表記をしている(例：紙オムツやナプキン等)。煙草がプラスチックであることを徹底していくことも大事だと思う。その上で、例えばコンビニなどにご協力いただいて、携帯灰皿のキャンペーンなどにつなげていただけたらいいのではないかと思います。(原田委員)</p>	<p>(対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記の視点を提言に記載することを検討する ・プラスチック製品の明示

No.	質問・意見等	回答
21	<p>・日進月歩で進んでいるので、国際的な動きや国の法律・戦略全てを最新でフォローアップというのは難しいかもしれない。しかし、プラスチック資源循環戦略は、かなり具体的なマイルストーンの数字も上げているので「はじめに」の「世界や日本の動き」のところでも触れていただく必要があると思う。その中で特に沖縄として頑張る部分をしっかり出していければいいと思うので、フォローアップをお願いしたい。(浅利委員長)</p>	<p>(対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記の視点を提言に記載することを検討する ・プラスチック資源循環戦略 ・沖縄として重点的に取り組む施策
22	<p>・今はタイトルを「プラスチック問題に関する提言」としているが、キャッチフレーズとして沖縄らしい言葉や、みんなの心に刺さるような言葉について、皆さまからのお知恵をいただければと思う。(浅利委員長)</p>	<p>(対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記の視点を提言に記載することを検討する ・沖縄らしい言葉、心に刺さる言葉 ・キャッチフレーズ
23	<p>・どうしてもプラスチックがなくなるわけではないため、我々処理業者が頑張るところと思っている。「循環型社会形成推進基本法」にはリサイクルの優先順位が示されており、その優先順位に基づいた処理施設について、県でも推奨していくことが必要だと思う。(赤嶺副委員長)</p>	<p>(対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記の視点を提言に記載することを検討する ・「循環型社会形成推進基本法」に示されているリサイクルの優先順位
24	<p>・私の会社では沖縄型の循環社会、循環経済を掲げている。できるだけマテリアルリサイクルにすることで、廃棄物から原料として生産側に供給し、沖縄型循環経済をつくれなかなと思っている。処理業者と製造側との連携が必要になる。リサイクル方法は様々なので、優先順位を考慮して取り組んでいき、ごみを排出する側に周知することも考えていくとよいと思う。結果的にバージン材は削減されてくると思うので、提言に盛り込めるとありがたいと思う。(赤嶺副委員長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における資源の循環活用について、提言に盛り込んでいければと思う。(事務局)
25	<p>・今後は経済の一つとして回していく必要がある。島しょ地域の沖縄型というものがつくれるかなと思う。沖縄全体として、市町村の行政の方々にも同じ認識を持ってもらい、皆でやっていくというかたちをつくれればと思っている。(赤嶺副委員長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における資源の循環活用について、提言に盛り込んでいければと思う。(事務局)

No.	質問・意見等	回答
26	<p>・目指すべき社会のビジョンについて、目標となる年限、数値、姿を書ければよいと思う。「プラスチック資源循環戦略」では、2030年までにワンウェイプラスチックを25%排出削減すると記載されているが、これを超える数値目標を掲げて取り組めるといいのではないかと思う。(村上委員)</p>	<p>(対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記の視点を提言に記載することを検討する ・目標となる年限、数値、姿 ・「プラスチック資源循環戦略」を踏まえた数値目標
27	<p>・沖縄らしさという意味では、観光立県なので、飲食やホテルのプラスチック製品の使用削減の取り組みが重要である。ワンウェイのカップや、ホテルのアメニティー等に関して、主要産業の姿が変わることが大切だと思う。(村上委員)</p>	<p>(対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記の視点を提言に記載することを検討する ・観光産業の取り組み
28	<p>・耐熱容器はリユース容器にできないだろうか。島の中で回っていくリユース容器としてコンビニで共通して使うものをつくるなどできないのかなとアイデアとして感じた。(村上委員)</p>	<p>(対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記の視点を提言に記載することを検討する ・リユース食器の活用
29	<p>・漂着ごみについて、保管状況や回収状況等の課題の量的な把握も必要ではないかと思う。特に離島での課題をまずは見える化することが必要だと思う。回収はとてもコストが掛かり大変だと分かっている。沖縄県内のお金だけで解決することではなく、「容器包装リサイクル法」で集まったお金など、国の様々な仕組みの中で増やしてもらおう等、次の打ち手を考える上でも、どれくらい困っているのかを課題として明らかにできるとよいのではないかと思う。(村上委員)</p>	<p>(対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離島における漂着ごみに関する課題の情報を収集する。
30	<p>・環境教育について、学校の先生たちは忙しくて教材準備に時間が取れず、普及が難しいという話も聞いている。相談窓口としてサポートできるような仕組みがつかれないかなと思う。新宿区では、環境学習センターにコーディネーターがいて、先生との間を取り持ち、課題等を一緒に解決しながら授業に結びつける等のサポートする仕組みがある。(村上委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育は非常に重要なことだと思う。先ほど説明した様々なプログラムなどもあるが、それをうまく活用しながら、委員の皆さまの提言をもとに今後進めていければと思う。地域にどうやって生かしていくか、市町村との連携も含めて考えていきたいと思う。(事務局)

No.	質問・意見等	回答
31	<p>・先月、工場や微細藻類の研究開発・生産事業者を訪問して、沖縄の温暖な気候や農業の様子などから、将来的にはプラスチックの原料調達みたいなどころまで考えるような、夢を持った方向性も描けるのではないかという印象を持った。(浅利委員長)</p>	<p>(対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記の視点を提言に記載することを検討する ・バイオマスプラスチックの生産 ・産学官連携による沖縄の地域特性の活用
32	<p>・マナーなどいろいろ解決しなければいけない課題もあるものの、しっかり前向きな沖縄というものを見せていけたらいいと感じた。上位計画なども様々あると思うので、そのあたりも勉強しながら進められたらと思う。(浅利委員長)</p>	<p>(対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記の視点を提言に記載することを検討する ・課題を踏まえつつ、前向きな沖縄の姿勢
33	<p>・前回会議後に、マスコミが「脱プラスチック」という言葉を使っていた。プラスチックのメリットを全く忘れた言葉で違和感がある。一般の方でも違和感をもつ方が多いと思う。それだけプラスチックは省エネルギーや軽量化など、環境に寄与している面も大きいので、「脱プラスチック」と言葉は気にかかる。(常盤委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企業ヒアリングをした中でも、指摘があった。「脱プラスチック」という言葉については今後、県の中、部内でも話し合っていきたいと思う。(事務局)
34	<p>・経済同友会の方がオブザーバーとして参加されたという意味では、経済界を挙げて早く行動をとる必要があると思う。4月から、観光ではアメニティーの配布やカトラリーの配布などに関しても制限がかかるなど、大きな動きもあると思う。最後の提言の時期に限らず、アクションを起こすところはぜひしっかり起こしていただけたらと思う。(浅利委員長)</p>	<p>(対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短期的に取り組めるアクションを検討する